

第 22 回共産党・労働者党国際会議最終宣言

2022 年 10 月 30 日

「キューバ及び戦いを進めているすべての人民との連帯。我々は、社会運動や大衆運動とともに、反帝国主義闘争において、資本主義とその政策に反対し、ファシズムと戦争の脅威に反対し、平和、環境、労働者の権利、連帯、社会主義を擁護する中で、団結して、より強くなるのである」。

1. 2022 年 10 月 27 日から 29 日にかけてキューバのハバナで開催された第 22 回共産党・労働者党国際会議 (EIPCO) に出席した、60 カ国 78 の共産党・労働者党の 145 人の代表は、人類が置かれている危険な状況について警告を発する。
2. 現在の帝国主義の優勢は、不当で持続不可能な国際秩序を押し付け、搾取を強化し、労働者階級と人民の状態を悪化させ、増大する紛争、対立、戦争を生み出し、COVID-19 の大流行のような世界的な問題の解決を困難にしている。この問題では、歴史的には社会主義諸国、今日ではキューバが、とりわけ公的医療制度と科学的発展を実現しており、効果的に立ち向かってきて、社会主義の優位性が明らかにされている。われわれ共産主義者は、人間による人間の搾取の廃止、国家と国民の互恵的關係、平和、社会的要求を満たすための持続的発展、社会正義と連帯に基づく新しい世界秩序を支持するものである。
3. 帝国主義の攻撃性の高まりと進行中の地政学的再編成の結果として、我々は、軍拡競争の新たなスパイラル、NATO の強化と拡大、新しい軍事同盟の出現、ウクライナのような軍事的緊張と紛争の先鋭化、世界各地でのファシズムの復活、「冷戦」と核戦争の勃発の脅威に直面している。我々は、これらを拒否しなければならない。
4. 資本主義の略奪的な性質は、不平等、富の二極化、排除、移住の流れの拡大をもたらし、また、食糧危機の深化、生態系の危機の悪化をもたらしている。一方で、我々は急速に「復帰できない」地点に近づいている。これらのことを、我々は非難する。
5. 資本主義が支配する政治体制は、独占企業と企業の利益を擁護し、資本主義の制度的危機を自らの利益に沿うように対処し、圧力と暴力によって、労働者と人民の増大する社会的不満を制御しようとしている。
6. アメリカ合衆国とその同盟諸国は、その内部危機の結果として、また競争相手に直面して、徐々に力を失っており、封鎖や違法な強制手段、「二重基準」、脅迫や軍事介入、諸国家への内政干渉といった政策を一層無差別に用いている。帝国主義は、非正規戦争の枠組みの中で、膨大な破壊的行動を展開している。中でも現在のメディアの性格は、帝国主義の利益に屈しない政府を不安定にし、変革するための道具として際立っている。
7. 資本主義的搾取体制に反対する世界労働者階級の闘いは、第一に、大資本家と帝国主義の計画に反対し、平和と正義と社会的平等の世界の建設のための階級闘争を強化するために、社会運動と人民運動、農民と先住民族の運動とともに共産党と労働者の運動の団結を必要としている。

労働者・人民の闘いを封じ込め、反帝国主義・革命勢力の団結と連帯を弱めようとする帝国主義の試みに直面し、ハバナでの第 22 回 EIPCO に参加した共産党と労働者党は、以下のことに同意する。

- 帝国主義との闘いを強化し、資本主義の利益が優先する現在の不公正で非民主的な国際秩序を、平和、持続可能な開発、社会正義、連帯に基づく国際秩序に転換し、社会主義社会の建設への道を開くために貢献するよう、努力を結集する。
- 民族の自決、独立、主権の平等、他国への内政不干渉の原則と、民族の平和と発展の道を選択する正当な権利の尊重を要求する。
- 国際関係における帝国主義戦争、武力による威嚇と行使を断固として否定し、平和のための闘いを推進する。資本家階級に対抗して人民の共通の利益を守るために、国際主義的行動と連帯を強化する。
- 軍拡競争とそれが引き起こす社会支出の大幅な削減、核兵器の存在とその近代化、外国の軍事基地、NATO とその拡大、NATO の世界的軍事組織化計画を非難し、拒否するために大衆を動員する。
- 世界各地で反共的、反動的、過激な民族主義的、ファシスト的勢力が復活しており、暴力、外国人排斥、人種差別、政治的・思想的・社会的・民族的・宗教的・ジェンダー的不寛容を激化させ、民族・国家間の対立を助長している。われわれは、これらと戦う。
- 帝国主義の干渉と侵略に抵抗する人民との連帯を強化し、政府と人民に対する圧力と恐喝の道具として用いられている、封鎖、制裁、一方的強制措置、二重基準政策を拒否する。
- マルクス・レーニン主義を擁護し広め、不正な資本主義体制の正当化し、社会主義・共産主義の信用を失わせ、我々の諸国の文化的アイデンティティを浸食・破壊しようとする帝国主義の思想的・文化的・象徴的攻勢と対決する。
- 人民のすべての正義と解放の大義のための闘いを強化し、労働者、農民、先住民、青年、女性の組織との連帯を強め、それらの権利を擁護し、資本主義に反対する。難民や戦争の犠牲者の側に立つ。
- 環境を破壊し、生態系と人類の生存を危険にさらす資本主義的利潤に基づく開発モデルを糾弾し、闘う。
- 資本主義の打倒と社会主義の建設のための革命的変革のために、労働者と人民の利益を守る闘いを強化する目的で、帝国主義の支配に反対する社会運動と人民運動とともに共産党と労働者の国際的運動の団結を強化する目的で、第 22 回会議で承認された行動計画を遂行する。

労働者階級の前衛が、社会的・人民的な組織及び勢力の運動、民主主義、女性の権利の解放のための運動とともに、真摯に努力をすれば、支配的で破壊的で未来のない世界体制としての資本主義を打ち破り、真の革命的変革を達成することができるだろう。

第 22 回 EIPCO の開催に貢献し、参加者を温かく迎えてくれたキューバ共産党、その革命的政府、その国民に感謝する。

我々は、キューバ国民の正当な理由と、彼らが 60 年以上にわたって受けてきた不当かつ犯罪的で強化された経済・通商・金融封鎖の即時無条件解除を求める闘いに連帯し支持することを再確認し、米国政府が虚偽のテロ支援国家リストからキューバを除外することを要求する。

我々は、ラウル・カストロ・ルス革命軍将軍の教えと、ミゲル・ディアス＝カネル・ベルムーデス、キューバ共産党中央委員会第一書記兼キューバ共和国大統領を筆頭に彼に続く世代とともに、社会主義、独立、連帯的社會の建設に向けた、人民の眞の決定的な解放のための闘いに常に激励を与えているキューバ革命の歴史的指導者フィデル・カストロ・ルスの遺産に賛辞を送る。

帝国主義と資本主義に反対する闘いのために団結しよう!

社会主義万歳!

ハバナ、2022 年 10 月 29 日

(新藤通弘訳)

解題：

共産党・労働者党国際会議 (EIPCO) は、1998 年ギリシヤ共産党 (KKE) が世界の共産党に呼び掛けて、各党の経験を交流し、具体的課題について共同の声明を発表する目的で創設されたものです。1998 年アテネで第 1 回会議が開催されて以後、ほぼ毎年開催されています。2009 年には共同のウェブサイトが英語とスペイン語で開設されました。主要参加政党は、ギリシヤ共産党、スペイン共産党、ドイツ共産党、ベルギー共産党、ブラジル共産党、ブラジルの共産党、カナダ共産党、チリ共産党、中国共産党。キューバ共産党、コロンビア共産党、朝鮮労働党、デンマーク共産党、アメリカ共産党、フランス共産党、ハンガリー労働者党、インド共産党、インド共産党 (マルクス主義)、イラク共産党、ラオス人民革命党、メキシコ共産党、ネパール共産党、ポルトガル共産党、ロシア連邦共産党、南アフリカ共産党、ウクライナ共産党、ウルグアイ共産党、ベネズエラ共産党、ベトナム共産党など、70 余の共産党・労働者党が参加しています。

日本共産党は、一度も参加していませんが、会議の共同のウェブサイトの英語版には、日本共産党が発行する Japan Press Weekly が毎週全文掲載されています。

今回の参加組織は、現在のところ発表されていませんが、ホスト政党として、次の政党が発表されています。

キューバ共産党

アルジェリア民主社会主義党

ベルギー共産党

フィンランド共産党

ギリシャ共産党
ハンガリー労働者党
インド共産党
イラン・ツデー党
アイルランド共産党
カザフスタン社会主義運動
ラオス人民革命党
メキシコ共産党
メキシコ人民社会主義党
オランダ新共産党
ロシア共産主義労働者党
トルコ共産党
アメリカ共産党

現在共産主義・労働者党の間で、立場の違いを生み出しているウクライナ問題では、最終宣言で、「帝国主義の攻撃性の高まりと進行中の地政学的再編成の結果として、我々は、軍拡競争の新たなスパイラル、NATOの強化と拡大、新しい軍事同盟の出現、ウクライナのような軍事的緊張と紛争の先鋭化、世界各地でのファシズムの復活、「冷戦」と核戦争の勃発の脅威に直面している。我々は、これらを拒否しなければならない」、「軍拡競争とそれが引き起こす社会支出の大幅な削減、核兵器の存在とその近代化、外国の軍事基地、NATOとその拡大、NATOの世界的軍事組織化計画を非難し、拒否するために大衆を動員する」、また今後の行動計画では、「ウクライナにおける紛争について、対話と交渉による平和的手段で、真剣かつ建設的で現実的な解決策を提唱する」という見解が共通の立場として表明されています。

(新藤通弘)

第22回共産党・労働者党国際会議の行動計画

会議は、2022年10月27日から29日にかけて、ハバナで開催された。

共産党・労働者党とそれに協同する社会組織は、ハバナにおいて、国際的な反帝国主義組織のよりよい協力と強化を達成することに合意した。

ハバナでの3日間の国際会議には、60カ国78の共産党・労働者党から145人の代表が集まった。現在、人類は、世界の資本主義の中核が推進する戦争と、わが人民が当然のことながら願望している平和と発展の間で議論している。この会議は、こうした世界にとって重要な時期に行われた。

この会議は、考察、交流、団結、協力、共通の立場と行動についての合意を創る機会となった。また、労働者の闘いの原因との国際連帯、キューバ革命、帝国主義やファシストの侵略

に直面している人民との国際連帯のための機会を創り出した。

2022年10月27日から29日にかけてキューバのハバナで開催された第22回共産党・労働者党国際会議では、次回会議までに取り組むべき主要点と行動として、次のように決定された。

1. 平和を擁護し、帝国主義戦争、戦争介入、核兵器、その他の大量破壊兵器、外国軍基地を拒否し、また NATO（北大西洋条約機構）や AUKUS（米英豪安全保障協力協定）などの帝国主義同盟に反対するための動員を行う。
 - 9月21日の「国際平和デー」に、戦争を糾弾し平和を支援するための世界的な動員を行う。
 - 世界平和評議会総会を成功させる。
 - ウクライナにおける紛争について、対話と交渉による平和的手段で、真剣かつ建設的で現実的な解決策を提唱する。
2. 私たちが守る理念と原則の継続性を保証するために、青年たちの政治的・主体的な参加を奨励する。国際共産主義運動と労働者運動の歴史的記憶を保存し、新しい世代に伝える。
 - 8月12日の「国際青年デー」を祝う。
 - 11月17日「国際学生デー」を祝う。
3. 人民の正当な要求と正当な権利に応える唯一の体系としてのマルクス・レーニン主義の理論的・実践的概念と社会主義の価値についての意見交換、分析、普及に寄与するワークショップとセミナーを対面式とバーチャル形式で開催する。そのために、以下のような活動や記念行事を検討する。
 - ソビエト連邦建国100周年。
 - カール・マルクス没後140周年記念日（1883年3月14日）。
 - 『共産党宣言』刊行（1848年2月21日）175周年。
 - 第1回左翼政党・運動の理論的出版物の国際会議、キューバで開催予定（2023年2月10日～12日）。
4. ソ連邦建国100周年とチリのアジェンデ人民連合政府に対するファシストのクーデター50周年に際して、反共主義とファシズム、およびソ連邦と社会主義の歴史的貢献に対する誤った報道を糾弾する。
5. 人民の正当な大義への連帯、また政治的・社会的権利の自由な行使に対する迫害や禁止に直面している共産主義者との連帯、独裁政権、民主的権利と自由の分野における弾圧や差別への反対を表明する。
6. 労働者階級、農民階級、女性、移民が、正当に要求している組合団結権、賃金の増大、労働条件の改善、民主的権利の闘いに連帯し、支援する国際キャンペーンを実施する。
 - 3月8日の国際女性デーと5月1日の国際労働者デーに動員を強化する。
7. 帝国主義の新植民地化計画と対決して、人民の文化とアイデンティティを擁護する活動を行う。
8. 環境の維持と保護を要求し、資本主義的な生産と消費の非合理的で持続不可能なモデル

を拒否する国民の動員に積極的に参加する。

9. 外国の占領、封鎖、制裁、帝国主義の侵略に反対して闘うすべての人民との連帯を示す。
10. 米国による経済・通商・金融封鎖の即時無条件解除を求めるキューバ国民との連帯の日に参加し、テロ支援国家として恣意的かつ一方的なリストにキューバを含めること、内政干渉、憲法秩序の破壊の試みに反対する。
 - 毎月最終週末に行われる「キューバと連帯する世界デー」に EIPCO 加盟政党がより積極的に参加する。
11. 闘うパレスチナの人々との連帯を強化し、あらゆる可能な手段によって、イスラエルの占領の即時停止と、東エルサレムを首都とする独立主権国家を持つ権利、および関連する国連決議に従った難民の帰還の権利を要求する。いわゆる「世紀の取引」と、パレスチナ占領地における入植地の建設と拡大を含む植民地化およびアパルトヘイトを実施している米国とイスラエルの犯罪的な政策を非難する。
 - 11月29日の「パレスチナの人々との国際連帯デー」に向けて、国際的なキャンペーンを展開する。
12. 西サハラ問題の公正かつ恒久的な解決と、未解決の紛争の平和的かつ交渉による解決の探求を、国際法の規範に従い、国連の枠組みの中で行うことを要求する。
 - サハラウィの人々の正当な権利行使のための闘いに連帯する総動員を、ポリサリオ戦線の創設日の5月10日に開催する。
13. 米国と欧州の帝国主義による侵略と違法な制裁に直面しているベネズエラ・ボリーバル共和国との連帯を促進する。違法な強制措置の即時解除と、帝国主義勢力に篡奪されたベネズエラ所有の資産の返還を要求する行動を実施する。
14. プエルトリコの人々の自決と独立のための侵すことのできない権利を支持する。
 - 米国の植民地主義に対する最初の武装蜂起を記念して、毎年10月30日に祝われるプエルトリコとの国際連帯の日を支援する。
15. ラテンアメリカ・カリブ海地域の共産党・労働者党国際会議 (EIPCO) 加盟政党が、以下の歴史的出来事を記念して実施する行動や活動を支援する。
 - 中米諸国独立 200 周年記念。
 - キューバの国民的英雄ホセ・マルティ生誕 170 周年記念。
 - 「モンカダ」兵営と「カルロス・マヌエル・デ・セスベデス」兵営の襲撃 70 周年。
16. モンロー・ドクトリン宣言 200 周年とアメリカのグレナダ侵攻 40 周年という枠組みで、ラテンアメリカとカリブ海諸国における帝国主義の干渉を糾弾する。
17. 国際的な反帝国主義組織、特に世界労働組合連盟 (WFTU)、世界平和評議会 (WPC)、世界民主青年連盟 (WFDY)、国際民主婦人連盟 (WIDF) の協力と強化を達成する目的で、共産党・労働者党およびその協同社会組織による行動を拡大する。
18. 2023 年にトルコで開催される第 23 回 EIPCO を成功させるために、世界のすべての地域の共産党・労働者党の間の団結、交流、協力を強化する。

(翻訳 新藤通弘)